

## 【町長挨拶】

今年度 1 回目の定例記者会見になります。よろしくお願ひいたします。今回の矢巾町定例記者会見では、産業観光課からチャグチャグ馬コについてと、健康長寿課から令和 8 年度特定健診等の各種成人健診についての 2 つ発表させていただきます。昨日、盛岡でチャグチャグ馬コ保存会の令和 8 年の総会があり私も参加してしました。今年度は 6 月 13 日(土)午前 9 時 30 分から午後 2 時まで、滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡八幡宮まで役員馬と装束馬によるパレードが実施されます。それに合わせて、本町でも馬コパレードを今年度も開催したいと思います。

## 【内容発表】

### 1 矢巾町チャグチャグ馬コパレードについて（産業観光課）

例年、徳丹城春まつりでチャグチャグ馬コパレードを実施していましたが、今年度は矢幅駅西側のにぎわい創出という観点から、開催日とルートを変更して開催します。併せて、パレードのゴールとなるさわやかハウスにて、ミニイベントを行います。

日時は 5 月 9 日(土)午前 10 時から午後 1 時を予定しています。10 時からイベントとパレードを開始し、パレード自体は約 30 分で終了する見込みです。チャグチャグ馬コのパレードでは、株式会社ベン岩手工場前からさわやかハウスまでの約 1.3 キロを 7 頭のチャグチャグ馬コが歩く予定です。着地点のさわやかハウスでは、歩いた後のチャグチャグ馬コとのふれあいと、ふれあい動物園という移動式の動物園を行います。他にも、ふわふわトランポリンを設置してお子さんも遊べるようなイベントになっています。

イベントの駐車場は矢巾町役場の駐車場と J A 矢巾支所の駐車場をご利用いただけます。チラシには裏側に地図が書かれていますので、周辺の道路を利用する際は気をつけていただければと思います。

### 2 令和 8 年度特定健診等各種成人検診について（健康長寿課）

今年度の特定健診等各種成人検診は 5 月から始まります。実施期間は、5 月 1 日(金)から 12 月 25 日(金)までです。実施場所は、岩手県対がん協会すこや館です。特定健診、子宮頸がん検診、乳がん検診は指定医療機関においても受診可能です。健診料金は無料またはお得な料金で受けることができます。詳細は 4 月の中旬頃に対象者に郵送の受診券をご確認ください。

その他、町民の健康意識と特定健診受診率の向上を目的として、矢巾町特定健診受診キャンペーンを開催します。5 月から 12 月に特定健診または若年者健診を受診した方に抽選で、町の特産品や協賛社提供の景品が当たります。協賛者は 4 社で、矢巾西口薬局、株式会社タニタヘルスリンク、メディカルフィットネスウェルベース矢巾、株式会社薬王堂です。

## 【質疑】

《矢巾町チャグチャグ馬コパレードについて》

●記者

イベントの1つである、ふれあい動物園にはどのような動物がいるのか現時点でわかっているか。

●担当者

現時点では、まだどのような動物園がくるか決まっておりません。近くなれば、教えていただけたらと思います。

《副町長について》

●町長

副町長の選任については、3月に議会の同意を得ることができず、私の不徳の致すところでごさいます。もう少し議会に丁寧な説明をしておればと反省しています。私の今回の任期があと1年ですので、残り1年は副町長が不在でもいいのではないかと議会からは話されています。今後、副町長の選任については議会とも連携しながら考えていきたいと思っています。今のところ、改めて提案とは考えていないところです。

《給食費無償化について》

今年度から小学校の児童の給食費が無償化になりました。本町では、町内小中学校に通うお子さんが3人以上いれば、3人目から無償化をやっていましたが、今後は、国の動向を見極めながら、中学生の無償化についても財政との両にらみですが検討しながらやっていきたいと思っています。ご存知の通り、学校教育は知育、徳育、体育の三育と言われています。私は他にも大事なこととして、食育があると思います。児童生徒にとって給食は非常に大事なものですので、食育・教育のあり方から無償化を検討していきたいと思っています。いずれ今回の国の取り計らいに感謝しているところです。

また、特にも学校給食では、地産地消を大切にしていきたいと思っています。現在、地元の生産組合の方々から町内産のお米を提供いただいております。できる限り町内産のお米・野菜など地場産品をより多く使うような形で今後も進めていきたいです。郷土食を学校給食に取り入れてもらうことも考えており、中身の濃い学校給食にしていきたいです。

《岩手医科大学附属病院の機能移転後の町の在り方について》

まず移転の経緯については令和7年2月に岩手医科大学の祖父江理事長さんの発表の通りですが、まず歯科や総合診療科など一部を除き、今年の4月1日をもって矢巾の附属病院に移転統合されました。今回の統合に伴う通院患者の増加に対応するため診察室を34室増設し、患者用の駐車場も約500台新たに確保して万全の受け入れ体制を整えて今回の移転統合を迎えられたというのが、大学側からの発表でございます。

矢幅駅の利用者の数など実態の変化は表れ始めていると思いますが、移転されて今日で14日目なため、これからわかってくると思います。去年、盛岡南高校と不来方高校が統合したことによる利用者の増加もあります。今でも私は忘れられないのが、岩手医科大学附属病院が盛岡市から矢巾町に移転した際の大変な渋滞です。最初は混乱があると思います。利便性の向上については、県交通にも対応していただいております。同行を見極めながらJR等にも要望していくつもりです。

現在、医大周辺には様々な施設が建設され、これからの交流関係人口を作り上げていくためにもプラスになるのではと考えております。スーパーなどを含め、商業機能は充実してきていますので、これからは住宅の開発も重要です。藤沢第二と田中地区と下花立地区は、ハウスメーカーによると完売されたとのことでした。

矢巾町は衣食住の町です。衣食住の「衣」は衣料もですが、本町には医療の「医」もあると思います。矢巾町は岩手医科大学、南昌病院、みちのくメディカルセンター、県立療育センター、他にも診療所、歯科診療所、産婦人科、小児科、眼科など全て揃っております。岩手医科大学のお医者さんや看護師さんなど医療従事者にとって職場が近く、利便性の高いマンションがあるなど、住みたい町になるよう、本町でもしっかり取り組んでいきたいと思っています。

医大は本県唯一の特定機能病院で、ドクターヘリのヘリポートもあります。統合周産期母子医療センターを有する病院でもあるので、メリットを生かし連携していきたいと思っています。地元には矢巾産婦人科もあるので、里帰りもできて産み育てられる環境があるとPRしていきたい。町民をはじめ、県民の皆さんの利便性の向上、地域経済の活性化や雇用の創出、将来の定住人口にしっかり繋げていきたいと考えています。町づくりを目指していきたい。岩手医科大学附属病院は北東北で誇る病院であり、医療施設拠点ですので、全ての面で住みよい町づくりができると思います。余談ですが ILC にぜひ来てもらいたいです。そうすると矢巾が選ばれる町になるのではないかと思います。外国人の働き手も増えますし、医療や教育がしっかりして、田園ホールで音楽もできる矢巾町は暮らしていくという意味では最高だと思います。

## 《南昌みらい高校の新体育館整備について》

### ●記者

県からの損害賠償請求について町長のお考えを伺う。

### ●町長

いろいろ心配かけています。南昌みらい高校の新体育館建設は、岩手県教育委員会と矢巾町との、生徒のため、町民のために一緒に考えていきましょうという共創プロジェクトでした。私どもとしては、覚書に締結された事項を遵守してお互いやっていきましょうと進めてきたわけです。重要事項や細かい取り決めはお互いに連携しながら取り組むことを覚書に記載されており、体育館の建設や使い方についても様々な変化に対応できるよう県側と話し合いを進めてきました。しかし多額の工事費、整備費について協定書や契約書も取り交わされていないため、協定書の取り交わしについて県の教育長に再三再四申し入れしていたところでした。そのうち県議会の本会議で突然、体育館を県有地に整備すると発表があり、他にも覚書の解除や損害賠償請求をされている状況です。「何かあった時は双方で協議しましょう」「話し合いしましょう」と覚書にあったにも関わらず、突然の一方的な対応に非常に戸惑いを感じています。責任転嫁も甚だしい。生徒・町民のために一緒にやりましょうと、議会も協力させていただきたいと話しておりました。先日議会から、新聞報道と町の話に齟齬があると指摘されましたが、私らは何も間違ったことはしていないと思っています。これからでもいいので、話し合いをしましょうと言っていますが、県では法的措置をとるとのことでした。私とし

ては、生徒・町民のことを一番に考え、解決できる落としどころがあるのではないかと  
思っているので、非常に残念です。

#### 《生徒の教育環境や地域スポーツについて》

##### ●記者

生徒の教育環境や地域スポーツへの影響の長期化についてどのように考えているか。

##### ●町長

教育環境というのは、スポーツ環境のことかと思えます。おそらくですが、不来方高校と盛岡南高校が統合することによって校舎や体育館をどうするかということは、県の教育委員会で事前に決めていたと思えます。そのため、生徒のスポーツ教育については、私はコメントする立場にはありません。ただ地域スポーツへの影響については考えていかなければならないところでした。矢巾町民総合体育館の老朽化と冷房の導入は検討が必要です。ただ、矢巾町の財政も厳しい状況のため、町民のためにスポーツ施設の建設を考えるとやりたいところではありますが、冷暖房の整備など地域の人たちに悪影響を与えないよう取り組んでいきたいと思っています。

(10時10分 終了)